

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

佐世保市立皆瀬小学校（長崎県）

## 【取組内容①】 個別最適な学び、協働的な学びにおける一体的な充実

校内研修「できた」「わかった」の実感を持ち、学びへの意欲を高める子どもの育成

## 第4学年 体育科 B 器械運動（アマット運動）

**本時の目標**

課題の解決のために自分が考えたことや技のできばえを友達に伝えることができる。

**ICTの活用方法（個別最適な学びにおける効果的なICTの利活用）**

- ・動画やタイムシフトカメラを使い、客観的に自分の動きを見ることで、動きのポイントのどこができていないのかを知る。
  - ・できていない動きを意識しながら練習するために、動画で撮影したり、過去の動画と比較したりする。
- 課題を解決したり、より美しい技へと高めたりすることにつながる。



## リーディングDXスクール事業【実践事例】

佐世保市立皆瀬小学校（長崎県）

## 【取組内容①】 個別最適な学び、協働的な学びにおける一体的な充実

**協働的な学び**

- ・映像を2画面にして過去の自分と今の自分の映像を見ながら友だちと技のできばえを伝え合う。
- ・電子黒板を用いて、自分の映像を見せながら、振り返りのポイントに沿って考えたことを発表する。



☆カメラを使い自分の技を撮影したものを見ることで、学びへの意欲が高まり、課題を客観的に理解する手助けになった。

**学校全体としての取り組み**

- ・授業を振り返り、ジヤムボードを活用して研究協議を行う。（全体授業）
- ・研究協議後、これからのICTを活用した授業づくり、リーディングDX戦略アドバイザーより指導助言
  - ①体育科における一人一台端末の活用場面
  - ②授業のねらいを達成させるためのポイント
  - ③情報活用能力の活用の観点から（なんのために伝えるのか）

☆教科の特質に応じ、ICTを利活用した場面設定を意識することが大切である。

## 【取組内容①】 個別最適な学び、協働的な学びにおける一体的な充実

## 第2学年 国語科 おもちゃの作り方をせつめいしよう

**本時の目標**

- ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。
- ・事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。
- ・事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。

**ICTの活用方法**（個別最適な学びにおける効果的なICTの利活用）

・ジャムボードを使い、順番がばらばらになっている文章を並び替えることで、わかりやすい説明文の構成の仕方がわかりやすくなる。

**【児童の変容】**

自分で並び替える活動をする事、自分の考えを友だちと共有することで学習意欲が高まった。

・電子黒板を使い、教師が並び変える手順を見せることで児童は活動の見通しを持ち、主体的に活動した。



## リーディングDXスクール事業【実践事例】

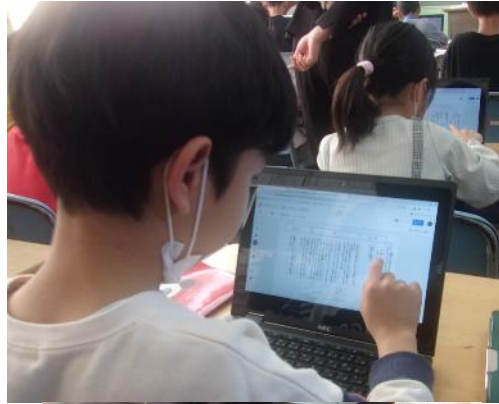
佐世保市立皆瀬小学校（長崎県）

## 【取組内容①】 個別最適な学び、協働的な学びにおける一体的な充実

**個別最適な学び**

・「見出し」「順序」に着目し、あらかじめ分けられた文章を並び替える。視覚的に分かりやすく、着目できるように「見出し」には、色をつけている。

・ジャムボードのヒントカードを用いることで、考える際の助けになり、考えがまとまっている児童は自分の考えを確認することができた。



☆ジャムボードを使った活動のよさ

①文を並び替えやすい（手軽さ）、訂正がしやすい

②共有のしやすさ

☆この授業での紙媒体（アナログ）とICT（デジタル）の併用

紙媒体→全体をとらえやすい

ICT→操作性のよさ、学習機会の保障



## 【取組内容①】 個別最適な学び、協働的な学びにおける一体的な充実

## 第6学年 算数科 D「データの活用」(2) 場合を順序よく整理して

**本時の目標**

起こり得る場合を順序よく整理し、目的に合うものがどれかを考えることができる。

**【仮説】**

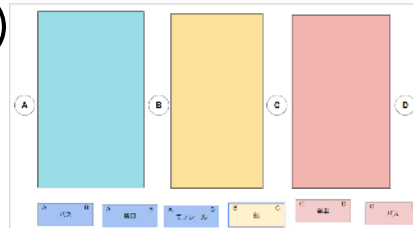
児童が自分の能力や興味関心、用途に合わせて選べるようなデジタル教材・教具を準備したり、考えを共有しやすくするようなICT環境を整えたりすることで、個別最適な学びや協働的な学びの充実を図ることができるであろう。

**ICTの活用方法**（個別最適な学び,協働的な学びに効果的なICTの利活用）

- ・画面を操作して図を作れるワークシート（タブレット・ジャムボード）
- ・デジタル教科書（電子黒板）
- ・評価問題の解き方を共有する（スライド）

→児童自身が学習方法・学習形態の選択を行う。

（個人、ペア、グループ）



## リーディングDXスクール事業【実践事例】

佐世保市立皆瀬小学校（長崎県）

## 【取組内容①】 個別最適な学び、協働的な学びにおける一体的な充実

**個別最適な学びと協働的な学び**

- ・ジャムボードやノートなど思考を促すツールをいくつか用意する。ジャムボードは画面を操作するだけで図を作ることの気軽さ、操作性のよさがある。
- ・児童自身が学習形態を選択できる。学習の流れの定着、環境づくり（電子黒板での共有の仕方、交流の仕方、学級の支持的風土など）を普段から意識し、実践した。



【児童の変容】自分で学習方法や学習形態の選択肢を設定したことで児童が意欲的に学習に取り組み、協働的に学ぶことで他者の考えを知り、学習への理解が深まった。

☆自分にとって最適な学び方を自分で選択できるようにするためには、実践を積み重ねたり、自己理解を深めたりする必要がある。

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

佐世保市立皆瀬小学校（長崎県）

## 【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実等

タブレットを使ってみよう冊子の配付（9月）～タブレットの具体的な使い方のレベル表～  
〈目的〉 家庭での児童のタブレットの使い方の様子を確認、意識付け

The composite image displays three key components of the initiative:

- Tablet Usage Guide (Left):** A booklet titled 'タブレットを使ってみよう' (Let's try using a tablet) with a 'Google Play Store' icon. It lists various apps and their functions, such as 'Google Classroom' for lessons and 'Google Drive' for document storage.
- Level Table (Middle):** A table with columns for '学年' (Grade), 'レベル' (Level), and '内容' (Content). It details the specific skills and knowledge expected for each grade level, from basic tablet operation in 1st grade to advanced digital literacy in 6th grade.
- Parental Guidance (Right):** A page titled 'はじめよう！私たちのこれからの学び（児童生徒向け）' (Let's start! Our future learning for children/students). It includes QR codes linking to Google for Education resources and a 'プレミアム タイピング' (Premium Typing) resource.

### 家庭への啓発

- その他に・・・
- ・クロムブックカリキュラムの作成
  - ・発達段階に応じたクロムブックの活用技能の習得
  - ・タブレット端末活用のルール
  - ・全学年に共通して、タブレットの使い方のルールを設定
  - タブレットの端末のメリット、してはいけないことなどを周知する

タブレット端末持ち帰りのてびき（HPで公開）  
～家庭学習でタブレット端末の効果的に活用しよう～  
〈目的〉タブレットの使い方の手順の家庭への啓発

The booklet 'タブレット端末持ち帰りのてびき' (Tablet Return Guide) consists of four pages:

- Page 1:** Title page with the subtitle '～家庭学習でタブレット端末を効果的に活用しよう～' (Let's effectively use tablet terminals for home learning) and the school name '令和6年度 佐世保市立皆瀬小学校'.
- Page 2:** A flowchart titled 'タブレット端末を使って・・・' (Using a tablet terminal...) showing the process from '持ち帰る' (Bring home) to '返す' (Return).
- Page 3:** A '確認のページ' (Checklist page) with a table of items to check before returning the tablet, such as '充電が満タンの状態で返す' (Return with a full charge).
- Page 4:** A '困ったときはこちら' (Go here when you're stuck) section providing troubleshooting steps for common issues like '充電がつかない' (Charging doesn't work) or '画面が壊れた' (Screen is broken).

- 【家庭への啓発を行って】
- ・学習におけるタブレットの使い方について、保護者の理解、関心が高まった。
  - ・学校での指導内容が家庭でも確認できるようになった。

## 【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実等

## ◇家庭学習充実の実践

## ○オンラインドリルの活用

難易度別のドリルがあり、繰り返し練習できる。児童が習熟度にあった教材で学習できる。すぐに正誤判定されるので自分の進捗で学習できる。教師にとっても丸付けなどの負担が減る。学習回数や正答率など自分の頑張りが可視化される。

## ○Googleアプリの活用

ジャムボードやスライドなどのアプリを活用して、自分の考えを表現、整理、可視化などを行う。  
（具体的に）読書記録、授業中で使用した教材の活用、学習の振り返りなど



社会の学習で学んだことをジャムボードでまとめる。個人でまとめる作業は宿題として行い、授業の中で考えを出し合い、グループでの交流に活用した。

## 【児童の変容】

- ・連絡帳や家庭学習にICTを取り入れることで、タブレットに触れる時間が増え、ICT活用の能力が向上した。
- ・ジャムボードやスライドなどのアプリを活用することで、意欲が高まったり、思考を深めたりすることができた。

## 【教職員の变容】

- ・児童の課題の進捗状況を確認できることで、児童の課題やつまずきが分かりやすくなり、指導にいかすことができるようになった。

## ◇連絡手段としての活用

・Google Classroomで翌日の連絡を行う。

→連絡帳を書く時間の短縮、端末に触れる機会の創出

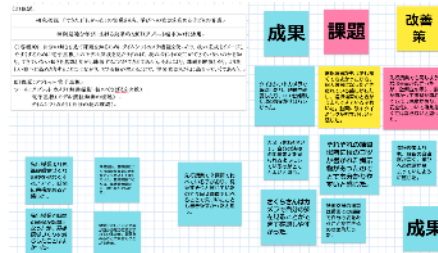


# リーディングDXスクール事業【実践事例】

佐世保市立皆瀬小学校（長崎県）

## 【取組内容④】 校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修

### ◇校務の効率化 タブレットを活用した授業研究



ジャムボードを活用し、全体で意見を交流する。

【効果】

- ・成果・課題などが明確に分かる。
- ・他のグループの意見が見える。
- ・記録に残る。保管しやすい。

☆ジャムボードをもとに協議をすることで、研究の視点や仮説に沿った研究協議ができた。

### ◇学校戦略アドバイザー研修、3校合同による研修

#### ○学校戦略アドバイザー研修

- ・ICTを活用した個別最適な学び
- ・研究主題「できた」「わかった」の実感をもち、学びへの意欲を高める子どもの育成についての講義

#### 【学んだこと（一部）】

- 授業のどの部分を個別最適な学びにするか考える。（例）調べ方、まとめ方、表現方法、動画で学ぶなど
- 個別最適な学びを実現するための児童生徒のICTスキルが必要  
起動、終了、不具合への対応 入力スキルの向上 ソフトウェア利活用スキルの向上
- 教員がICT活用授業をするのに必要な3つの力
  - ・ICTを活用した授業を構想する力（学年、単元、教科、場面、使い方）
  - ・ICTを活用した授業を遂行する力（A.授業ツール活用スキル B.授業中の対応力）
  - ・ICTに関する基礎的なリテラシー（ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク等）

#### ○3校合同による研修

- ・同一小中学校区の中里小学校、中里中学校との3校合同で研修を行い、個別最適な学びと協働的な学びについて学びを深めた。